



[1]先端生命科学研究院附属「次世代ポストゲノム研究センター」
を改組し、「次世代物質生命科学研究センター」を発足

[2]株式会社ダイセルと共同で“部局設置型”「産業創出講座」を同
センターに初めて設置 ～企業との大型共同研究を推進～

[1] 先端生命科学研究院では、国家的研究プロジェクトや産学連携研究を平成 18～27 年度まで附属次世代ポストゲノム研究センターを中心に実施してきました。今後の社会変革や本学の第 3 期中期目標・中期計画期間のもとで、先端生命科学研究院では平成 28 年度より同センターを改組し、附属次世代物質生命科学研究センターを発足します。新しい研究センターは 3 ユニット(産学連携, 国際連携, 先端基盤)を設け、企業との大型共同研究の推進, 国際共同教育研究拠点(GI-CoRE)の創成, 機器共用・高度技術人材育成を機動的に進める体制を開始します。これにより北海道大学内の研究シーズの実用化を加速させます。

[2] 産業創出部門制度は、北海道大学と民間等外部の機関が共通の課題について一定期間継続的な“組織対組織型”共同研究を実施することにより、社会的に高い付加価値を持つ産業を創出し、社会イノベーションを推進することを目的とする制度です。これまでの産業創出部門は全学組織である産学・地域協働推進機構に設置されていましたが(平成 28 年 3 月末時点で 5 部門設置), この度の附属次世代物質生命科学研究センターの発足趣旨及び新規体制に鑑み、同センター内に、北海道大学で初めての「部局設置型」産業創出部門として、株式会社ダイセルと連携協力して「脂質機能解明研究部門」を開設します。全学組織設置型は部局横断的な融合研究開発に適していますが、この度の部局設置型は研究テーマを絞り組織構成をコンパクトにすることで、より柔軟かつ機動的な共同研究開発が可能になるなどの利点が見込まれます。

【脂質機能解明研究部門の概要】

名称: 脂質機能解明研究部門

設置目的: スフィンゴ脂質を中心とした脂質の新しい生理機能について解明し、脂質含有機能性健康素材の開発を行う。

課題名:乾燥肌・アトピー性皮膚炎・抗ガン剤投与患者の皮膚状態改善及びアルツハイマー予防のための
の新規機能性健康素材の開発

設置期間:平成 28 年 4 月 1 日より 2 年間

こんにやくセラミドを用いた皮膚機能改善の研究開発は、これまでユニチカ株式会社との共同研究として、地域イノベーション戦略推進事業「さっぽろヘルスイノベーション Smart H」などで展開し、こんにやくセラミドの作用機序を解明するなど多くの成果を生んできました。昨年の春、ユニチカ株式会社の生活健康事業が株式会社ダイセルに事業譲渡された後も共同研究を継続し、更に研究開発が加速され、こんにやくセラミドはセラミド市場の牽引役として、特定保健用食品や機能性表示食品への展開が期待されています。また、抗ガン剤投与患者の皮膚機能改善や、アルツハイマー疾患予防のための新規機能性素材の開発といった健康長寿社会を、今後築いていく上での重要課題にも取り組んでいく予定です。

お問い合わせ先

北海道大学大学院先端生命科学研究院 研究院長 出村 誠（でむら まこと）

TEL : 011-706-3768 FAX : 011-706-2771 E-mail : demura@sci.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院先端生命科学研究院

附属次世代物質生命科学研究センター長 門出健次（もんで けんじ）

TEL : 011-706-9041 FAX : 011-706-9540 E-mail : kmonde@sci.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院先端生命科学研究院 客員教授 五十嵐靖之（いがらし やすゆき）

TEL : 011-706-0001 FAX : 011-706-9024 E-mail : yigarash@pharm.hokudai.ac.jp